

伊那中央病院 脳神経外科・脳神経内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年6月16日

「内科治療不応の症候性頸動脈軽度狭窄に対する血行再建術」に関する研究を実施しています。

伊那中央病院倫理委員会の審査による承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	21-7
課題名	内科治療不応の症候性頸動脈軽度狭窄に対する血行再建術の検討
所属(診療科等)	診療部(脳神経外科)
研究責任者	佐々木 哲郎
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年3月31日
研究の意義、目的	症候性頸動脈軽度狭窄(狭窄率50%未満)に対する外科治療の有効性は未だ確認されていないため、通常は内科治療が選択されますが、頸動脈プラークが不安定な性状であると、脳梗塞を再発する危険性が高まります。この研究では、不安定プラークを有し、脳梗塞を再発した内科治療不応の症候性頸動脈軽度狭窄に対して外科治療を行った方を対象に、外科治療の妥当性を明らかにすることを目的としています。
対象となる方	2015年4月1日から2020年3月31日の間に、抗血栓療法中に脳梗塞を再発した症候性頸動脈軽度狭窄で、血行再建術(頸動脈内膜剥離術または頸動脈ステント留置術)を当院で受けた方。
利用する診療記録/検体	年齢、性別、既往歴、常用薬、血液検査、心電図、画像検査、病理診断、手術記録、診療記録など。
研究方法	外科治療時の合併症や術後観察期間における脳梗塞再発の有無を調査し、外科治療の妥当性を考察する。
問い合わせ先	伊那中央病院 脳神経外科 佐々木 哲郎 住所:伊那市小四郎久保 1313-1 電話:0265-72-3121(代表)

診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります